

シミュレーション可視化の未来

計算科学ミュージアム実現に向けて

2018年 **2月24日(土)**
13:00~17:35 (受付 12:30~)

日本橋ライフサイエンスハブ

(室町ちばぎん三井ビルディング* 8F) *コレド室町3併設の建物です。
※1Fのオフィスイントランスよりお入りください。



SPECIAL GUEST
招待講演

中島 映至 氏
JAXA 第一宇宙技術部門
地球観測研究センター (EORC) センター長
「近年の地球環境問題と
その見える化」

Webでの 事前登録制

どなたでも参加いただけます

<http://www.aics.riken.jp/mieruka2018/>

定員に達し次第、締め切らせていただきます。



**参加費
無料**
定員120名

Program プログラム ※詳細は裏面をご覧ください。

▶ 展示コーナー

- 「コンピュータ・シミュレーションでできること、わかること」
- 特別ポスター「シミュレーション図」

▶ 課題提起

なかなか伝わらない
「シミュレーションの価値」

辛木 哲夫 理化学研究所 計算科学研究推進室

計算科学の見える化：
方程式～アルゴリズム～データ

藤堂 眞治 東京大学大学院理学系研究科 准教授

▶ 講演

科学技術館科学ライブショー
「ユニバース」22年間の実践から

亀谷 和久 国立天文台/科学ライブショー「ユニバース」筆頭案内役

目に見えない実物を展示する

島田 卓也 展示プランナー・ディレクター/日本科学未来館 展示企画開発課

科学データを見るということ

三浦 均 武蔵野美術大学 映像学科教授

▶ 招待講演

近年の地球環境問題とその見える化

中島 映至

JAXA 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター (EORC) センター長

▶ パネルディスカッション

計算科学ミュージアム実現に向けて

パネリスト

辛木 哲夫、藤堂 眞治、亀谷 和久、
島田 卓也、三浦 均、中島 映至

モデレータ

古宇田 光
東京大学 物性研究所 計算物質科学研究センター



見える化シンポジウム2018

シミュレーション可視化の未来

計算科学ミュージアム実現に向けて

Program プログラム

13:00~13:10	司会 干場 真弓 理化学研究所 計算科学研究推進室 ▶ 挨拶 主催者挨拶 宇川 彰 理化学研究所 計算科学研究機構 副機構長 来賓挨拶 文部科学省 研究振興局参事官(情報担当) 付
13:10~13:25	▶ 課題提起 なかなか伝わらない「シミュレーションの価値」 辛木 哲夫 理化学研究所 計算科学研究推進室
13:25~13:40	計算科学の見える化：方程式～アルゴリズム～データ 藤堂 眞治 東京大学大学院理学系研究科 准教授
13:40~14:10	▶ 講演 科学技術館科学ライブショー「ユニバース」22年間の実践から 亀谷 和久 国立天文台／科学ライブショー「ユニバース」筆頭案内役
14:10~14:40	目に見えない実物を展示する 島田 卓也 展示プランナー・ディレクター／日本科学未来館 展示企画開発課
14:40~15:00	▶ 休憩(展示)
15:00~15:30	科学データを見るということ 三浦 均 武蔵野美術大学 映像学科教授
15:30~16:10	▶ 招待講演 近年の地球環境問題とその見える化 中島 映至 JAXA第一宇宙技術部門 地球観測研究センター (EORC)センター長
16:10~16:30	▶ 休憩(展示)
16:30~17:30	▶ パネルディスカッション 計算科学ミュージアム実現に向けて パネリスト 辛木 哲夫、藤堂 眞治、亀谷 和久、島田 卓也、三浦 均、中島 映至 モデレータ 古宇田 光 東京大学 物性研究所 計算物質科学研究センター
17:30~17:35	▶ エンディング

Profile 講演者プロフィール

辛木 哲夫
理化学研究所 計算科学研究推進室
2012年より理化学研究所 計算科学研究機構にて広報責任者。スーパーコンピュータやシミュレーションの役割・有用性をお伝えし、共感いただくことを目指している。

藤堂 眞治
東京大学大学院理学系研究科 准教授
博士(理学)。1996年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。専門は計算物理、量子統計力学。趣味は学生のプログラムのデバッグ。HPCI戦略プログラム2、ポスト「京」重点課題7で広報代表者を務める。

亀谷 和久
国立天文台／科学ライブショー「ユニバース」筆頭案内役
東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修了。博士(理学)。東京大学、JAXA宇宙科学研究所の研究員、東京理科大学助教を経て現職。科学ライブショー「ユニバース」には1996年から従事。2010年より筆頭案内役として企画・運営の取りまとめを担う。

島田 卓也
展示プランナー・ディレクター／
日本科学未来館 展示企画開発課
日本科学未来館をはじめ、科学技術系の展示施設を中心に展示の企画制作を行う。また、科学データを元にした可視化プロジェクト、インタラクティブ作品のプログラム開発を多数行っている。

三浦 均
武蔵野美術大学 映像学科教授
神戸大学大学院修了、理学博士。理研研究員などを経て現職。国立天文台4D2Uプロジェクトに参画。「The Origin Of The Moon」「地球型惑星の誕生」「デジタルエンブリオ」など、原子から宇宙まで森羅万象のデータに基づいたCG作品を多数手がける。

中島 映至
JAXA第一宇宙技術部門
地球観測研究センター (EORC)センター長
2015年3月まで東京大学大気海洋研究所 地球表層圏変動研究センター長。地球観測衛星を先端科学と実利の両面で活用する研究を推進。各種省庁関連委員を歴任し科学技術のあり方を提言。2017年に紫綬褒章、アメリカ地球物理学連合Yoram J. Kaufman賞を受賞。

Exhibition 展示

▶ 「コンピュータ・シミュレーションの価値」 ●コンピュータ・シミュレーションでできること、わかること ●特別ポスター「シミュレーション図」

▶ 日時
2018年 2月24日(土) 13:00~17:35(受付12:30~)

▶ 場所
日本橋ライフサイエンスハブ
(室町ちばぎん三井ビルディング※ 8F) ※コレド室町3併設の建物です。
1階オフィスエントランスよりお入りください。

▶ お問合せ
理化学研究所 計算科学研究推進室 広報グループ
〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-26 TEL: 078-940-5625/5782 (岡田、松尾)
E-mail: mieruka@ml.riken.jp URL: http://www.aics.riken.jp/mieruka2018/

会場へお越しの際は

室町ちばぎん三井ビルディング1Fのオフィスエントランスよりお入りください。オフィスエントランスの最寄り駅は、東京メトロ「三越前」A4出口です。

※当日は地下通路(地下1F)からはご入場いただけません。

